学校番号	3010

令和　3　年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校国語総合(数研出版)						
副教材等	意味から学ぶ常用漢字　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につける。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や、意思を伝えるための「書く能力」を伸ばすことをめざす。
・古典文学に親しみ、現在につながる言語、文化や感情を学ぶ。
・提出物の期限の守り、定期考査に向けて学習計画を立てて臨む。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、思いや考えを適切に表現することができる。
・文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを理解し、自分の言葉で正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育もうとする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている
評価方法	行動の観察 記述の点検(ノート、ワークシート)	行動の観察(発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析(ノート、ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ノート、ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の点検(ノート、ワークシート) 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想	「差」という情報	○	◎		○	○	a:　話す内容がどうすれば相手に伝わりやすいかを考えている。 b:話す内容がどうすれば相手に伝わりやすいかを考えている。 d:作者の考えや「差」について的確に捉えている。 e:話すこと・聞くことに必要な文のみ立てについて理解している。	a.b: 行動の観察、確認及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説	羅生門	○			◎	○	a：登場人物や筆者の視点に立って物語を読み進め、登場人物の行動や心情を捉えようとしている。 d:登場人物の登場人物や筆者の視点に立って物語を読み進め、登場人物の行動や心情を捉えている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

二学期	評論	攻撃と共存	○			◎	○	a:考え方の進め方や、情景や心情の推移など、文章の道筋を的確に捉えようとしている。 d: 考え方の進め方や、情景や心情の推移など、文章の道筋を的確に捉えている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	表現	手紙	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c: 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a,c,e: 記述の点検と確認及び分析
	古典入門	宇治拾遺物語 竹取物語	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
三学期	漢文入門	入門一 入門二 矛盾	○			◎	○	a:日本の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立や骨組を的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうちａとｅについては、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（b、c、d）に関わる観点には◎を付している。